

透過プロキシモードと転送プロキシモードにはどのような違いがありますか？

目次

[質問](#)

質問

透過プロキシモードと転送プロキシモードにはどのような違いがありますか？

プロキシの目的は、HTTP クライアントと HTTP サーバの間の仲介役 (プロキシ) です。そのため、Web プロキシである Cisco Web セキュリティ アプライアンス (WSA) は、クライアント要求ごとに次の 2 つのセットの TCP ソケットを持ちます。

クライアント -> WSA
WSA -> 元のサーバ

WSA HTTP プロキシがクライアントの要求をどのように取得するかは、次の 2 つのいずれか、つまり **透過的** または **明示的** として定義できます。

それぞれの導入に、次のようないくつかの設定オプションがあります。

導入	方式	説明
トランスペアレント	レイヤ 4 スイッチ (PBR)	レイヤ 4 スイッチは宛先ポート 80 に基づいてリダイレクトされます。
トランスペアレント	WCCP	WCCP v2 対応デバイス (通常、ルータ、スイッチ、PIX、またはファイアウォール) は宛先ポート 80 をリダイレクトします。
トランスペアレント	ブリッジモード	仮想的にペアになったデュアル NIC。1 つの NIC がトラフィックの入口、もう 1 つが出口です (使用不可)。
明示的	ブラウザ設定	クライアント ブラウザは、プロキシを使用するように明示的に設定されます。
明示的	PAC ファイル設定	クライアント ブラウザは、PAC ファイルを使用し、そしてプロキシを使用するように明示的に設定されます。

WSA は、ブリッジモード以外にはこれらのすべての導入を使用できます。近いうちに利用できるようになる見込みです。

要求が WSA に透過的にリダイレクトされているときには、クライアントはプロキシの存在を認識できないため、WSA は OCS (元のコンテンツサーバ) のように動作をする必要があります。それとは反対に、要求が WSA に明示的に送信される場合、WSA はそれ自体の IP 情報を使用して応答します。

明示的なクライアント HTTP 要求と透過的なクライアント HTTP 要求の違いのいくつかを、以下に示します。

1. 明示的要求には、設定済みプロキシの宛先 IP アドレスが含まれます。透過的要求には、目的の Web サーバ (クライアントにより解決される DNS) の宛先 IP アドレスが含まれます。
2. 透過的要求の URI には、ホストのプロトコルが含まれません。

透過的	GET / HTTP/1.1
明示的	GET http://www.google.com/ HTTP/1.1

どちらにも、DNS ホストを指定する HTTP ホスト ヘッダーが含まれます。

WSA の設定

WSA は「透過」または「転送」用に設定できます。これは誤解を招くおそれがありますが、実際には「透過」または「明示」モードであり、**どちらも転送プロキシ導入**です。リバースプロキシでは、プロキシが HTTP サーバと同じネットワーク上にあることが想定されており、その目的はこれらの HTTP サーバのコンテンツを提供することです。

WSA での**透過モード**と**転送モード**の主な相違点は、WSA が透過モードでは透過的 HTTP 要求と明示的 HTTP 要求の両方に応答する一方、明示モードでは明示的 HTTP 要求**のみ**に応答する点です。

WSA はそれ自体のクライアントとして機能するため、そのアップストリーム要求を常に透過スタイル要求として送信します。ただし、WSA が明示的アップストリームプロキシを使用するように設定されている場合は**除きます**。

透過的認証と明示的認証のもう 1 つの違いは次のとおりです。

透過的	401 - 認証が必要なときに WSA から送信されます。これは、OCS から送信されます。
明示的	407 - WSA から送信され、HTTP プロキシが認証を必要としていることをクライアントに通知し